

「第17回 日本-カンボジア上下水道セミナー2024」実施報告

今回で第17回目を迎えた本セミナーは、北九州市を中心とした「北九州グループ」とカンボジア王国政府の信頼関係の強化、産業振興と上下水道を通じた両国の交流を目的として、北九州市上下水道局による企画・調整・運営によって実施してきた。2024年4月1日に、上水道と下水道が国土交通省の監理下に入ったこと等から、上下水道セミナーとして開催している2016年以降、初めての上下水道完全合同開催となった。

第17回のテーマは、一体となった上下水道について、人の生命に欠かせない水道と人が活用した後の水を処理して水循環に戻す下水道が同じ水循環の中にあるとして、「すべてに潤いを与える上下水とめぐる水」(水循環=めぐる水)とした。上下水道セッションとして、おおよそ2日間に亘って開催され、下記のような参加内訳となった。

延べ人数は、559人であった。



シム・シター長官 (ハム・バンディー工業科学技術革新大臣名代)

日付/国・分野	カンボジア(上水道)	カンボジア(下水道)	日本	合計
12月24日	138人	78人	102人	318人
12月25日	102人	60人	79人	241人
延べ人数	240人	138人	181人	559人

本セミナーは、国土交通省から松原大臣官房審議官(上下水道)以下3名にお越しいただいた。北九州グループのリーダーは、持山上下水道局長、また、カンボジア側のリーダーは、シム・シター長官(工業科学技術革新省(MISTI)ハム・バンディー大臣の名代)のもと実施された。

24日は、オープニングセレモニーに続いて国土交通省の基調講演及び「水循環の現状と今後の展開」を題材にしたパネルディスカッションが行われ、カンボジアの課題と日本の支援等が示された。その後、北九州市海外水ビジネス推進協議会(KOWBA)とカンボジア水道協会(CWA)



公共事業運輸省ケム・ボレイ副長官

の覚書署名式、国土交通省とMISTIの協力協定文書交換式が行なわれた。午後からは、JICA本部によるプロジェクトの紹介、公共事業運輸省下水道総局長による下水道の現状及びプノンペン都公共事業運輸局下水処理施設所長らによる施設の維持管理、MISTI水道総局長による水道の現状及びプノンペン水道公社による現在の活動と北九州市との協働について発表があった。その後KOWBA会員企業のプレゼンが実施された。

25日は、CWAから水道普及と課題について発表があったのち、KOWBA会員企業からのプレゼンを経て閉会となった。

セミナーの概要(プログラムは別紙のとおり)

開催日程：2024年12月24日(火)25日(水)

会場：ソカーホテル プノンペン

共催：北九州市上下水道局、北九州市海外水ビジネス推進協議会、国土交通省、カンボジア王国工業科学技術革新省、プノンペン都公共事業運輸局、

カンボジア水道協会

後援： 在カンボジア日本国大使館、独立行政法人国際協力機構(JICA)、
カンボジア王国公共事業運輸省

参加者： 延べ 559 名(カンボジア側 378 人、日本側 181 人)

来賓： カンボジア王国工業科学技術革新省	シム・シター 長官
	ウム・ソター 長官
	セイ・ピルム 長官
カンボジア王国公共事業運輸省	ケム・ボレイ 副長官
在カンボジア日本国大使館	植野 篤志 特命全権大使
JICA 本部	貝谷 一樹 主任調査役

写真



オープニング VIP 登壇



KOWBA 会員企業展示



国交省基調講演



パネルディスカッション



KOWBA と CWA の覚書署名式



国土交通省と MISTI の文書交換式



JICA 本部プレゼン



下水処理施設の運転維持管理について



カンボジアの上水道について



プノンペン水道公社の活動と北九州



CWA プレゼン



KOWBA 会員企業プレゼン



全体写真